

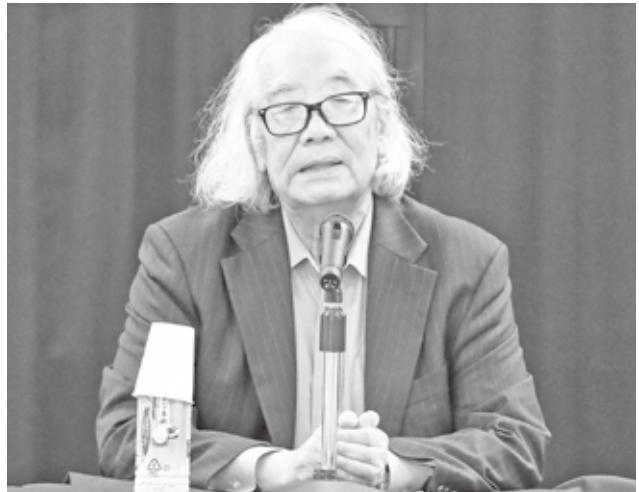
## 北の野生動物をモチーフに 絵本創作を語る

手島 圭三郎

私が生まれたのは、北海道の北見オホーツク管内という、日本の最果てと言ってもいい土地で、冬は流氷がやってきます。父は鉄道員で転勤が7回あり、農村が3つ、漁村が3つ、もうひとつは駅員しか住んでいないような山の上で生活していました。山の上は季節によっては虫の声や鳥の鳴き声に溢れています。野生動物もたくさん見ることができました。その頃から、私にはすでに運命的に将来は野生動物をテーマにした絵本を作るという下地のようなものが出来上がっていたのかも知れません。

小学校の最初の図画の時間に私が書いた軍艦の絵が優れているということで、掲示板の一番いいところに貼り出されました。兄弟三人は先生から「今度入ったおまえの弟は絵が上手いから親に必ず画家にするように言いなさい」と言わされたという話を聞き、漠然とではありますが将来画家になろうという目標ができました。高校生になったときに美術の先生が私の才能を認めてくれて、将来教員になった方が絵を描いていくのに都合がよいと教育大学に入るように勧めてくれたんです。中学校の教員をやりながら絵を続けて、42歳で版画家として独立しました。

20年の間に時代に逆行するような大きな賭けを2つやりました。ひとつは教員になって2年くらい経った頃に油絵だったのを木版画に変えたことと、もうひとつは30代の半ばぐらいに絵のテーマを北海道の



弘前図書館で講演中の手島先生

野生動物に変えたことです。もしあのときに賭けをしなかったら画家として、また絵本作家として独立してやってこられたのかどうか分かりません。

絵本の仕事をしたのは独立してちょうど4年経った46歳くらいになっていた頃です。東京の上野美術館の展覧会に「しまふくろうのみずうみ」という絵を出品しましたところ、その絵を東京の出版社の絵本の編集者が見て、「今まで動物が絵本の中に出てきてもほとんどの絵本は、いわゆる童話化されていて絵はいわゆる児童画になっている。全然別のものを作りたいんだ」ということで私の木版画をそのまま絵本に使うことになりました。その本が日本絵本賞という大きな賞を与えてくれました。2作目の『おおはくちょうのそら』では一緒に連れて行けない病気の子どもを家族たちがどうするかという話を書きました。その頃から、児童文学を知らないとかストーリー性が弱いなどとはあまり言われなくなって、木版画を使って絵本を作る数少ない人間だということを評価してくれるようになりました。

動物の世界は国境なしにどこの国にも入っていくし、時代が経っても古くなることはない。野生動物は、親から育ててもらうけれども必ず自立して自分の力で生きていくんです。私の絵本が、ほんの僅かでもお子さんやみなさんの感性を高めるために役立ってくれれば、作者としてそれに優る喜びはありません。

※令和元年7月6日の講演より弘前図書館が抄録、編集いたしました。

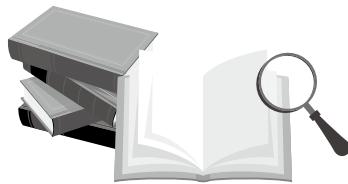


# 図書貸出システム更新に伴う 弘前市立図書館 臨時休館のお知らせ

弘前図書館、岩木図書館、こども絵本の森、相馬ライブラリー、移動図書館車  
**休館期間：9月24日（火）～9月30日（月）**

弘前図書館・岩木図書館・こども絵本の森・相馬ライブラリーは  
9月24日（火）から9月30日（月）まで、図書貸出システム更新のため**全館休館**になります。また、移動図書館車「はとぶえ号」の巡回もお休みさせていただきます。

## ◆ 休館期間中のご利用について



### 〈図書の返却〉

各図書館または市内各所にある返却ポストをご利用ください。

#### ◆ 返却ポスト設置場所

- ・弘前図書館 ・岩木図書館 ・こども絵本の森 ・相馬ライブラリー
- ・弘前市まちなか情報センター ・弘前市総合学習センター ・JR弘前駅（改札口付近）

※視聴覚資料、紙芝居、大型絵本は返却ポストへは入れずに返却期限内にカウンターへの返却をお願いいたします。

### 〈貸出期間の延長〉

- ・返却日が休館期間にあたる場合は、予め期日を延長して貸出します。
- ・休館期間中は図書館のコンピュータシステムが使用できないため、お電話での貸出期間の延長および予約の申込等も受け付けできませんので何卒ご了承ください。

### 〈ホームページのご利用〉

- ・図書貸出システムが使えなくなるため、インターネットによる蔵書検索や予約等が出来なくなります。

**ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。**



# 図書館からのお知らせ



## 自動販売機が変わりました

弘前図書館1階ロビーに設置しておりました飲料の自動販売機が7月18日より、「手回し式災害救援自販機」に変わりました。災害や緊急事態の発生で停電になった場合、①手回し式発電によって携帯電話やラジオ等の非常用電源として利用でき、②手回し発電で自動販売機内の飲料を無料で取り出すことができるようになりました。

## 雑誌スポンサーになっていただきました

7月より、株式会社菊池商店様が弘前図書館の雑誌スポンサーになり、月刊誌『PHP』を提供していただいております。弘前市立図書館では、社会貢献のための具体的な活動のひとつとして図書館の雑誌スポンサーになりたい、という事業者のみなさまのお申込の受付をしております。市内事業者の方のご参加をお待ちしております。



## 見学・職場体験実施中！

弘前市立図書館では、施設見学・職場体験を実施しています。

①施設見学は概ね小学生以上が対象で、普段見ることの出来ない地下書庫や移動図書館車を見学します。

②職場体験は概ね中学生以上が対象で、最大4名まで受け入れが可能です。カウンター業務のほかに、本のフィルムコート体験やレファレンス（参考調査）体験、テーマ展示の準備などを行います。どの学校の生徒の皆様も真剣に取り組んでいます。カウンターで職場体験中の生徒を見かけた際は、ぜひ生徒の皆さんのがいるところから本を借りてみてください。



### 2019年度 施設見学・職場体験受入状況

※令和元年7月31日現在

#### ＜施設見学＞

城西小学校、千年小学校、第三大成小学校、青柳小学校

#### ＜職場体験＞

第四中学校、東目屋中学校、津軽中学校、新和中学校、田舎館中学校、尾上総合高校



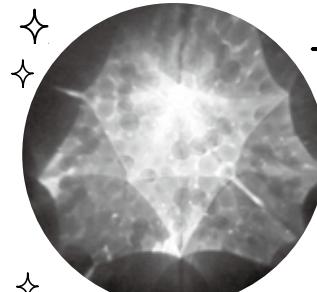
# 催し物報告



8/3 (土) 岩木図書館

## 空き箱で自分だけの万華鏡をつくろう！

お菓子の空き箱とペットボトル、100円ショップで購入できるプラ板やビーズ等を使用して自分だけの万華鏡を作りました。開催する前から展示しておいたためか、子どもたちは万華鏡に興味津々。わくわくした様子で万華鏡を覗いていました。初めての開催でしたが、大変人気で受付初日の時点で申込定員に達しました。当日参加した子どもたちはスムーズに作って、完成した自分だけの万華鏡を覗き「わあ、きれ～い！」と笑顔で嬉しそうな声を上げていました。



万華鏡から見える世界



完成した万華鏡

こども向けの  
イベントが  
もりだくさん！



どんなものが  
見えるのかな？



6/22 (土) 岩木図書館

## ぬいぐるみのおとまり会 in 岩木図書館



みんなでうんとこしょ どっこいしょ！

2回目となる今回は11名が参加。子どもたちはぬいぐるみと一緒におはなし会を楽しんで一旦お別れ。その後、ぬいぐるみ達は図書館のお仕事を体験したほか、「はとぶえ号」に乗ったり、読み聞かせや大きなかぶごっこをして遊びました。この時の様子は記念写真にしてプレゼント！お迎えに来た子どもたちは「泣いてなかった？」とぬいぐるみを心配したり、写真を見て「読み聞かせしてる～」と大喜びでした。

7/21、8/11、9/1(いずれも日曜) 弘前図書館  
夏の図書館ひみつの特別講座



お話しする高山さん

7月から9月まで3回にわたって行われたこの講座。初回は、昨年「図書館を使った調べる学習コンクール」の全国大会で奨励賞を受賞した大成小学校2年生の高山京慧さんが、ご自身の体験談をお話してくれました。調べたとき一番大変だったことや昨年の題材にしたニホンザリガニのこと、次に調べてみたいテーマなどを始終楽しそうに語っていました。



7/20 (土) ~ 8/18 (日) こども絵本の森  
夏休みおはなしクイズラリー

お友達や家族と一緒にヒントの絵本を覗き込んだり、間違い探しに熱心に挑戦したり……。問題が書いていない「はずれ」を引いても楽しげに次の問題を探しにいく子どもたちの姿が印象的でした。景品のスタッフ手作りのうちわも大好評でした！

答えは……!?



7/27 (土) 弘前図書館  
夏休みおはなし会

おはなしボックスのみなさんが、手作りの扇を使った演出で読み聞かせを行い、語り手の方と一緒に子どもたちも扇に書かれた文章を一生懸命読んでいました。『びゅんびゅんごまがまわったら』が読まれた後、子どもたちは実際に教わりながら楽しそうにこまを回していました。



『えがないえほん』、  
『注文の多い料理店』  
などを読み聞かせ



6/9 (日) こども絵本の森  
おおきなだっこで絵本の時間  
～パパ！じいじ！これ読んで～

講師の高嶋さんには「絵本で遊ぶ・絵本を赤ちゃんと一緒に楽しむこと」「今後のお子さんの発達や成長に合わせて、どのような絵本を選んでいくか」という点を中心に話していただきました。お父さんと一緒に絵本を見つめる赤ちゃんの様子が微笑ましく、とても充実した時間となりました。



講習会の様子

8/1 (木) ~ 8/31 (土) 全館合同  
4館スタンプラリー

3回目となる今回は、1つスタンプを押したらそれぞれの図書館でオリジナルのしおりをプレゼント。以前参加した方からは「4館全部に行かなくても貰えるんだ～」という声も。しおりを見て「すごくかわいい！」「何色にしようかな～」と笑顔の親子や、スタンプを押した後で早速次の図書館に向かう親子など、みなさん楽しんで参加していただけたようです。



【しおり】  
左から弘前、岩木、こども絵本、相馬

8/1(木)~8/3(土)、8/8(木)~8/10(土) 弘前図書館  
図書館のお仕事やってみ隊

図書館の業務に興味のある小学4年生から6年生を対象に、図書館の仕事を体験してもらうというこのイベント。当日は、カウンター業務の他、図書館見学、本に抗菌フィルムをかけるブックコート体験、レファレンス体験などを行いました。

最初は緊張が見られた子どもたちでしたが、図書館業務を体験しているうちに緊張はほぐれ、みんな楽しみながらも真剣に図書館の仕事に取り組んでいました。



お仕事体験の様子

◆◆◆

# 図書館スタッフが選ぶ イチオシの本 おすすめ図書紹介



## 『どこにでもある素材でだれでもできるレシピを一冊にまとめた「作る気になる」本』

山本ゆり / 著 扶桑社 2018年

不器用で面倒くさがりの著者が、自分でも作れる簡単な料理ばかりを142種類も集めた1冊です。おしゃれな調味料は使わない、なければある物で代用してOK。でも、まあまあといった味ではなく、手間を省きながらもおいしさにこだわったレシピを紹介しています。ところどころに添えられた著者のユニークなコメントも必見です。タイトルを読んで、本当に?と思ったらぜひ、借りて、読んで、作ってみてくださいね。



## 『みらいのえんそく』

ジョン・ヘア / 作 椎名かおる / 文 あすなろ書房 2019年

遠い未来、宇宙ステーションに住む子どもたちの遠足の行き先はなんと、月でした。月面から見る地球に子ども達はわくわく大はしゃぎ。でも1人だけ、居眠りをしている間に月に置いてけぼりになってしまった子どもがいました。諦めて絵を描き始めた彼に、謎の影が忍び寄り……。マイペースな少年と宇宙人たちとのとぼけた交流が可愛らしい絵本です。



## 『大人になつたらしたい仕事 「好き」を仕事にした35人の先輩たち』

朝日中高生新聞編集部 / 編著 朝日学生新聞社 2017年

この本では、35人の大人を9つの「好き」で分類しています。フィルムの開発者・衣装デザイナー・ゲームプロデューサー・国連職員など、どういう仕事をしているのか気になる職業の数々。先輩たちのこれまでのあゆみ、その仕事をめざしたきっかけ、仕事の楽しさや大変なこと、しごとの3か条、こだわりアイテム、後輩へのメッセージなどを一日のスケジュールとともに紹介。『大人になつたらしたい仕事2』もありますので、この機会にいろいろなお仕事を覗いてみましょう。



## 『日本の色彩百科』

城一夫 / 著 青幻舎 2019年

色彩学の権威である城一夫が明治以降に流行した景観、ファッショ、インテリア、プロダクト、グラフィック、アートなどの各分野の色彩を100の話題とともに取り上げます。明治以降の流行カラーサンプルも掲載。竹久夢二、東京オリンピック、ギャル、ドレス……一見して全く異なる世界の言葉やモノたちが、「色」を合言葉につながります。新時代を迎えた今だからこそ、「色」で歴史を振り返ってみませんか？



## 『日本詩人全集22 中原中也』

中原中也 / 著 大岡昇平、飯島耕一 / 編 新潮社 1967年

夭折の詩人、中原中也の詩を初めて目にしたのは学生の頃でした。「汚れつちまつた悲しみに…」と「臨終」だったと思います。七五調・五七調のリズムの良さと言葉の美しさに、当時繰り返し読んだ記憶があります。その後も折に触れて読んでいますが、むしろ大人になってからの方が心に迫るものがあります。ままならぬ現実を知るからこそ、より中原中也の詩はこころに突き刺さるのだと思います。読後は見える風景が少し変わる、そんな一冊です。

中原中也



## 『イザベルと天使』

ティエリー・マニエ / 作 ゲオルグ・ハレンスレーベン / 絵 石津ちひろ / 訳 2003年  
金の星社

イザベルは毎日美術館に通って一枚の絵を眺めます。絵の中には小さな天使の男の子がいて……。いつも一緒にいられるけれど、美術館の外には出られない天使。そこで、イザベルがとった驚きの行動とは！？まっすぐでちょっとぶっきらぼう、不器用でなかなか素直になれないイザベルのなんと可愛らしいこと！美術館にあるたくさんの展示作品のなかで、絶対に女神の彫刻だけは見ようとしないイザベルの姿に、共感できる方はたくさんいるはずです。



## 『NHK「きょうの料理ビギナーズ」ブック ハツ江おばあちゃんの定番おかず』

高木ハツ江 / 著 河野雅子 / 監修 NHK 出版 2019年

NHKの人気番組から生まれた本です。ハンバーグ、クリームシチュー、さばのみそ煮など、定番の料理をより簡単に、おいしく作る方法を紹介しています。手順がほぼすべて写真で説明されているため、とてもわかりやすいのもポイントです。食欲の秋に、新しい料理だけでなく、定番をよりおいしくアップデートすることに挑戦してみるのも楽しいかもしれません。





# 9月～11月 図書館これからの予定



## 弘前 講座・短歌をつくろう

9月8日（日）13時30分～16時30分

短歌の作り方講座。初心者歓迎。

◆ 講師：NHK 学園短歌講師、短歌会・運河の会  
代表 山谷英雄／対象：中学生以上＝15名（先着順）／申込方法：8月1日（木）より電話・カウンターで受付。

## 弘前 バリアフリー映画会

10月5日（土）14時30分～16時30分

東野圭吾原作『笑』を劇中のセリフや描写について音声ガイドや字幕付きで上映。

◆ 対象：どなたでも＝60名（先着順）／申込方法：8月16日（金）より電話・カウンターで受付。

## 弘前 おはなしと 読み聞かせ講習会

10月19日（土）14時～16時

絵本の読み聞かせの実技・実演方法や読み聞かせボランティアの活動内容の紹介など。

◆ 講師：高嶋敬子さん（JPIC 読書アドバイザー）  
／持ち物：絵本1冊／対象：図書館で読み聞かせボランティアを始めてみたい方＝10名（先着順）  
／申込方法：9月20日（金）より電話・カウンターで受付。

※ 参加無料です

※ 都合により変更になる場合がございます



## 弘前 雑誌の無料配布

10月26日（土）9時30分～

図書館で不要になった雑誌のバックナンバー約1200冊を無料で提供。なくなり次第終了。

## こども絵本

### えほんのもりのおはなし会 秋スペシャル

11月10日（日）10時30分～11時

読書週間に合わせて、秋にちなんだおはなし、お歌、パネルシアターなど。申込不要。



## 弘前 小学生に贈るおはなし

11月23日（土・祝）13時30分～15時

おはなしボランティアと図書館職員が合同でおこなう特別なおはなし会。今年は約10グループのおはなしボランティアが参加予定。手作りカードを使ったおはなしなど。申込不要。

◆ 対象：小学生またはお話に関心のある方

弘前図書館

開館時間  
平日 9:30～19:00  
土日祝 9:30～17:00  
休館日…毎月第3木曜日  
年末年始  
蔵書点検期間  
電話 32-3794

岩木図書館

開館時間  
平日 9:30～19:00  
土日祝 9:30～17:00  
休館日…毎週月曜日  
年末年始  
蔵書点検期間  
電話 82-1651

こども絵本の森

開館時間  
10:00～18:00  
休館日…毎月第3木曜日  
蔵書点検期間  
電話 35-0155

相馬ライブラリー

開館時間  
9:30～17:00  
休館日…毎週水曜日  
年末年始  
蔵書点検期間  
電話 84-2316

